



**「平成 27 年度徳島県防災生涯学習推進大会・第 2 回学校防災研修会」
おめでとうございます！ 《平成 27 年度 徳島県まなぼうさい活動賞》**

「徳島県まなぼうさい活動賞」が決定しました。この表彰は、県内の小・中・高・特別支援学校における、防災教育や防災活動について、特に優れていると認められる学校に対して知事表彰を行い、その模範とすべき取り組みを県下に紹介することを目的として平成 17 年度から毎年実施されています。1 月 6 日に行われた「防災生涯学習推進大会・学校防災研修会」冒頭で、児童・生徒に賞状が知事より手渡されました。



表彰式後、受賞校代表の阿南市立津乃峰小学校、徳島県立徳島視覚支援学校の実践発表が行われました。両校ともキーになるのは地域連携で、それぞれ特色ある取り組みの発表でした。

講演会では、岩手県大船渡市立日頃市中学校の村上洋子先生が、東日本大震災の体験やこれまでの実践から「防災教育は人づくりであり、日頃の防災教育・避難訓練・五者（子ども・学校・保護者・地域・行政）の連携、災害を語り継ぐこと」の大切さを熱く語られました。会場には全県下から多くの方が参加し、世代を越え、みんなで力を合わせ、徳島県の防災活動や防災教育を充実・発展させていこうという雰囲気になっていました。

【受賞校紹介：活動内容一部紹介】

徳島市論田小学校：H23 年度より被災地との交流継続、防災教育（論田プラン）の作成や啓発活動
阿南市立津乃峰小学校：バス会社等と連携し避難所体験や実効性ある避難訓練、地域への啓発活動
海陽町立宍喰小学校：GPS を用いた避難訓練により避難行動や避難場所を検討し地域防災力向上
徳島市城西中学校：自主防災組織との連携・協力体制構築、地域の要となり地域防災訓練実施
美馬市立美馬中学校：「家族防災会議」呼びかけ、「避難所と人権」学習に取り組み防災教育を発展
つるぎ町立半田中学校：「防災の森」「少年消防クラブ」「地域防災訓練」等、地域一体で人材育成
県立徳島商業高等学校：H23 年度より被災地との交流継続 H27 年度交流合宿実施、地域へ啓発活動
県立那賀高等学校：防災プログラム等で実践力アップ、H26 年度豪雨災害の復旧作業に率先し活動
県立板野高等学校：地域防災行事にスタッフとして積極的に参加、地域リーダーの育成や地域連携を図る
県立徳島視覚支援学校・徳島聴覚支援学校：学校・地域連携「防災キャンプ」「防災学習会」実施
県立鴨島支援学校：地域・関係機関・保護者と連携し防災学習・訓練・研修で理解・協力体制構築

「阪神・淡路大震災」（1 月 17 日）・「防災とボランティア週間」（1 月 15 日～21 日）

1995（平成 7）年 1 月 17 日午前 5 時 46 分、淡路島北部を震源とした M7.3 の兵庫県南部地震が発生しました。特に震源に近い神戸市街地の被害は甚大でした。今年は、あの日から 21 年目を迎えます。「防災とボランティア週間」は、この震災を契機に、災害時におけるボランティア活動と平常時における自発的な防災活動や備えの重要性が認識されたことから、1995 年 12 月 15 日の閣議了解により定められました。この震災から命の大切さを再認識し、自助・共助の大切さ、建物の耐震化・家具固定、情報伝達システムの整備、災害救急医療体制の確立、避難所のあり方・・・など、多くの教訓を得ました。

当センターでは、エントランスホールにて 1 月 31 日まで、「災害ボランティア」パネル展、1 月 17 日（日）には「家具固定教室」「書道パフォーマンス」「災害遺産伝承 4K 映像上映」などが行われます。ぜひ御来場ください。

また、今年は昭和南海地震から 70 年。過去に学び未来に備えるとして、毎月テーマを決めて「毎月 1 点検運動」を実施しています。1 月は『家具固定』、2 月は『備蓄』です。

詳細は別添のチラシを御覧になり、御活用ください。



毎月 1 点検：1 月「家具固定」2 月「備蓄」

徳島県防災人材育成センター（北島町フジグラン隣）TEL088-683-2100 啓発・人材育成担当 稲井